

自分の目標を決めよう ～進路予備調査を終えて～

進路予備調査を行い、多くが進学希望という結果でした。ここで質問です。自分にとっての「良い学校」とは何でしょうか。答えられますか。一度立ち止まって、世間の一般的な考えに押し流されることなく考えてみましょう。難関といわれる高校あるいは大学進学率の高い学校でしょうか？ 様々な考えがあると思いますが、「良い学校」とは入学後自分が充実して有意義に過ごせる学校ではないでしょうか。自分にとっての「望ましい学校」とはどういうものかを見つめることが大切だと思います。千差万別、自分自身を冷静に見つめることから始めましょう。世間の評判や学力だけで選ぶと、「校風が合わない、こんなはずじゃなかった」など後々後悔することもあります。そうならないために以下のポイントからいろいろ考えてみましょう。

【1 進学の確認しよう】

はっきりした目的意識をもって、学校を選びましょう。目的がなく、まわりの友だちが進学するから、または親が言うから・・・では、自身の大切な進路を選択することに対して、後ろ向きで消極的です。進路先は、高校だけでなく高等専門学校、各種学校など様々。もう一度じっくり自分の適性を考えてながらイメージしてみましょう。

【2 進学先の実態を調べる】

直接志望先を調べ、自分で納得いくまで考えていくことが大切です。次のポイントを意識すると、学校への理解がより深まると思います。

具体的には・・・教育方針、校風、生活指導面、設備、学科や課程、教育内容と特色、通学時間、卒業時に取得できる資格、施設設備面、周囲の環境、学費、進路指導や卒業生の様子など

【3 アドバイスを受け入れながら、最終決定は自分の責任で】

周囲の話をしっかり聞くこと、そして自主性を高めること、この二つを両輪にして欲しいと思います。周囲からのアドバイスは、自分自身では気がつかないことや見えていないことをきっと補ってくれるでしょう。高校生活は今まで以上に、自主性が要求されます。「周りの人、つまり親や先生が何とかしてくれるだろう」はもう卒業。主体的な姿勢をで臨みましょう。

担任・保護者・先輩などのアドバイスを聞きながら、自分の責任で最終的な決定をする。自分自身の責任にすることは、満足する受験の大切な要素です。

※保護者のみなさまへ

〈交通遺児育英会奨学金制度募集〉が始まります

ご案内は <https://www.kotsuiji.com/> よりご確認ください